

現 計 画				次 期 計 画													
基本目標	方向	施策	課題	一億総活躍社会 ※1		2025年・2040年問題 ※2	デジタル化 (DX)										
高齢者が健康で生きがいを感じながら、社会を支え続けるとともに、地域で安心して誰もが自分らしく暮らすことができる社会の実現を目指します。	I 健康寿命を延伸するとともに社会で活躍し続けるために	1 高齢者の健康と元気を応援する地域づくりや活動への支援の充実	地域における介護予防・健康づくりの取り組みを通じた健康寿命の延伸	※3 地域共生社会	視 点 高 齢 化 の 進 展 な ど 社 会 構 造 の 変 化 に 中 長 期 的 に 対 応 し て い く 施 策 の 推 進	キ ー ワ ー ド 高 齢 化 の 進 展 な ど 社 会 構 造 の 変 化 に 中 長 期 的 に 対 応 し て い く 施 策 の 推 進	単身又は高齢者のみの世帯の増加										
		2 高齢者が生涯活躍することのできる環境の整備	多様な就労、ボランティア活動、地域活動等への支援による社会参加の促進														
		3 自立した生活を続けるための生活支援体制づくりの強化	安心して自立した生活を続けられるサービスの提供・整備														
	II 共に支え合い安心して暮らし続けるために	4 地域の多様な主体が連携する地域ネットワークづくりの推進	地域の多様な主体の連携の強化・支え合いの体制の強化					認知症高齢者の増加	【健康寿命の延伸（生きがい・健康づくり）】	【地域包括ケアシステムの深化・推進（自分らしく地域で安心して暮らすことができる社会の実現）】	【効果的な介護・福祉サービスの基盤整備】	アフターコロナにおける社会の変化への対応					
		5 認知症の人が希望を持って自分らしく暮らし続けることができる取り組みの推進	認知症への備えの強化と認知症になっても希望を持って生活を送れる環境整備														
	III 介護サービス基盤の充実と介護人材の活躍を支えるために	6 効果的な介護サービス基盤の整備	中長期的な需要を捉えた介護サービス基盤の整備										SDGsの取り組み ※4	全世代型社会保障 ※5	8050問題 ※6	自立支援・セルフケア	民間活力の導入
		7 多様な介護人材の確保・育成と働きやすい環境づくりの推進	介護人材不足への対応、デジタル技術等を活用したサービス・生産性の向上														
						QOLの維持・向上	地域の通いの場										
						参加と協働	フレイル予防										
						地域づくり	学び・就労の場の確保										
						地域資源間の連携強化	認知症への備えと共生										
						重層的支援 ※7	新しい認知症親の共創										
						医療・介護の連携											
						サービス需要の中長期的な見通し	包括的な介護人材の確保										
						介護現場のイメージ刷新	認知症対応力の向上										
						ICT・ロボット	デジタル市役所										

【用語解説】

- ※1 一億総活躍社会…女性も男性も、お年寄りも若者も、一度失敗を経験した方も、障害や難病のある方も、家庭で、職場で、地域で、あらゆる場で、誰もが活躍できる、全員参加型の社会。2017年8月に閣議決定された政府基本方針では、少子高齢化の流れに歯止めをかけ、50年後の人口一億人維持を目指す方針となっている。
- ※2 2025年・2040年問題…2025年問題とは2025年に国民の3割が高齢者となり、団塊世代全員が75歳以上となることで起こる社会問題の総称。2040年問題は2040年に団塊ジュニア世代が高齢者となり、高齢者人口がピークを迎えることで起こる社会問題の総称をいう。
- ※3 地域共生社会…地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながること、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともにつくっていく社会を指す。

- ※4 SDGs…「持続可能な開発目標」と訳され、2030年を達成期限と定めて国連加盟国すべてが取り組むことでより良い地球を目指していく17のゴール、169のターゲットで構成される国際社会の共通目標をいう。
- ※5 全世代型社会保障…年齢に関わりなく、全ての国民が、その能力に応じて負担し、支え合うことによって、それぞれの人生のステージに応じて、必要な保障がバランスよく提供されることを目指すもの。
- ※6 8050問題…80代の高齢の親が50代の引きこもりの子どもの生活を支える等の80代の親と50代の子が抱えがちな困窮や孤立等の問題をいう。親の収入がなくなり、様々な理由から外部への相談も難しく、親子が社会的に孤立して生活が立ち行かなくなる状態を指す。
- ※7 重層的支援…既存の相談支援や地域づくり支援の取組を活かし、子ども・障害・高齢・生活困窮といった分野別の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援をいう。